

勝手に 首都圏 データベース

仏教

ファッションから真理へ

またぞろ仏教がブームだ。それも小難しい思想でなく、グッズとか。数珠にお香に仏壇に、おしゃれな風が吹いている。(米原範彦)

「おおっ、これがあの「なーむー」の「はせがわ」か。

若者でこつた返す東京・渋谷の道玄坂。入り口に縁結びの童子像、無料おみくじコーナー。店内ではプレスレット風の数珠、アロマを意識したお香、インテリア仏壇などが目を喜ばせる。雑貨屋のたまたま店。オープンしたのは01年12月。柴田敦・渋谷道玄坂店長(41)は「少子社会に備え、新規客を開拓する戦略。全国14店舗中、唯一、若年層をターゲットにしています」。月間の平均入店者数は郊外店の約10倍、2500組に上る。たしかに10代、20代の女性客が目立つ。

北原友子さん(23)は「仏教は暗くない。数珠プレスレットをアクセサリー感覚のお守りとして身につけてます」。自室に香りのコーナーも作っている。彼氏の誕生日には、数珠プレスレットを贈った。自らの癒やしから感謝の気持ちを表すものへ、意味合いも微妙に進展している。宗教者現学研究所の此経啓助所長は、80年代の精神世界、90年代の癒やしに続く第3のブームと見る。「思想色を嫌いつつも宗教的感性を満たしたい現代人の工夫だろう。聖なるグッズは、日常を屈折させ、人生を考えるための四つ辻に連れて行ってくれる」と分析する。

一見仏教となじみにくい青山や新宿を拠点にした声明コンサート、仏教をイメージしたレストランなどの人気も高まっている。

和田多香子さん(25)は数珠プレスレットをつけ、道玄坂の店で開かれる写真会に通う。「入り口はファッションでも、その先に真理みたいなものを求めているんですよ」



来週は●ハルウララ●



1都6県の300人に聞きました

「仏教」のイメージは?



The Asahi Shimbun

- 東京・浅草の念珠堂には、お線香、数珠、仏像などがたくさんある(大田区 会社員 29歳)
- 千葉県の成田山新勝寺では、有名な占師がいて、平日でも長蛇の列(千葉県印西市 主婦 28歳)

ちょっと小耳に

- 東京・原宿の「彫銀」で梵字や曼陀羅などをモチーフにしたジップライターやアクセサリを売っていて、ビジュアル的にも格好良い(千葉県市川市 不動産業 28歳)
- 100円ショップ、中国雑貨店、カフェで数珠などをよく見る。大仏が置いてある東京・新宿や渋谷の多国籍レストラン「ブツトリックバー」が人気(目黒区 会社員 28歳)
- 私の通う東京都世田谷区の駒沢大学では、お坊さんが歩いたり、座禅場や関連の資料館があったりで、現代と仏教の融合が楽しめる(千葉県松戸市 大学生 22歳)
- 東京・上野の東京国立博物館内のミュージアムショップが気になる(大田区 会社員 25歳)
- 神奈川県鎌倉市の建長寺で売られている禅Tシャツ(1500円)がイケてる(目黒区 サービス業 25歳)

梵字や曼陀羅の妙

キャンパスの僧形



カラフルな数珠プレスレット。15分もあれば店内でオリジナル品を作ることができる。東京・渋谷の「はせがわ」で、吉沢良太撮影

街を遊ぼう